

第Ⅰ部 マレーシアの国情

（資料作成者注：特記しない限り、特記しない限り、令和 6 年（2024 年）3 月 27 日付けの外務省「国・地域」中の「マレーシア：基礎データ」による。<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100003206.gif>）

マレーシア (Malaysia)

基礎データ

○国名

マレーシア (Malaysia)

○マレーシア国旗



○マレーシアの領域



○一般事情

1 面積

約 33 万平方キロメートル（日本の約 0.9 倍）

2 人口

約 3,350 万人（2023 年マレーシア統計局）（日本の 2023 年の人口 12,462 万人の約 26.9%）

3 首都

クアラルンプール

4 民族

マレー系約 70%（先住民 12%を含む）、中華系約 23%、インド系約 7%（2023 年マレーシア統計局）

5 言語

マレー語（国語）、中国語、タミール語、英語

6 宗教

イスラム教（連邦の宗教）64%、仏教 19%、キリスト教 9%、ヒンドゥー教 6%、その他 2%（2023 年マレーシア統計局）

7 略史

年月 略史

15 世紀初め マラッカ王国成立

16 世紀～17 世紀 ポルトガル、オランダ東インド会社によるマラッカ支配

1824 年 英蘭協約によりマレー半島及びボルネオ島西北部が英国の勢力範囲下となる。イギリスによる植民地支配。

1942 年～1945 年 日本軍による占領

1948 年 英領マラヤ連邦形成

1957 年 マラヤ連邦独立

1963 年 マレーシア成立（シンガポール、英領北ボルネオ（サバ）及びサラワクとマラヤ連邦が統合）

1965 年 シンガポールが分離、独立。

○政治体制・内政

1 政体

立憲君主制（議会制民主主義）

2 元首

イブラヒム第 17 代国王（2024 年 1 月即位、任期 5 年。ジョホール州スルタン）

（注）マレーシアの国王は、9 州の統治者（スルタン）が統治者会議で互選する。

3 議会

二院制

上院：70 議席、任期 3 年。44 名は国王任命、26 名は州議会指名。

下院：222 議席、任期 5 年。直接選挙（小選挙区制）。

4 政府

首相：アンワル・イブラヒム（2022 年 11 月就任）

外相：モハマド・ハサン（2023 年 12 月就任）

5 内政概況

2022 年 11 月 19 日、連邦下院の総選挙が実施され、希望連盟（PH）が最多議席を獲得。同年 11 月 24 日、アブドゥラ国王は憲法の規定に基づいて、アンワル PH 議長を首相に任命。同日、アンワル新首相が宣誓を行い、第 10 代首相に就任。

○外交・国防

1 外交基本方針

ASEAN 協力の強化、イスラム諸国との協力、大国との等距離外交、南々協力、対外経済関係の強化が対外政策の基本。PKO には 1960 年から積極的に参加。

2 軍事力

（1）予算：41.5 億米ドル（2022 年予算）

（2）兵役：志願制

(3) 兵力：正規軍 11.3 万人（陸軍 8 万人、海軍 1.8 万人、空軍 1.5 万人）
(2023 年版ミリタリーバランス)

○経済

1 主要産業

製造業（電気機器）、農林業（天然ゴム、パーム油、木材）及び鉱業（錫、原油、LNG）

2 名目 GDP

	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
GDP（名目）（リンギット）	15,127	14,185	15,489	17,914	18,226

（単位：億リンギット）（マレーシア統計局）

2023 年のマレーシアの GDP(内閣府)：4,160 億米ドル

これは、2023 年の日本の名目 GDP:42,130 億米ドルの約 9.9%に相当する。

3 一人当たり GDP（名目）

	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
一人当たり GDP（名目）	11,232	10,361	11,450	12,364	13,382

（単位：ドル）（IMF）。これは日本の 2023 年の一人当たり GDP]：33,800 米ドルの約 39.6%に相当する。

4 経済成長率（実質）

	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
経済成長率	4.4	-5.5	3.3	8.7	3.7

（単位：％）（マレーシア統計局）

（日本の 2023 年の実質経済成長率は、1.9%である。）

5 物価上昇率

2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
--------	--------	--------	--------	--------

物価上昇率 0.7 -1.2 2.5 3.3 2.5
 （単位：％）（マレーシア統計局）
 （日本の 2023 年の消費者物価上昇率は、3.25 である。）

6 失業率

	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
失業率	3.3	3.3	4.5	4.6	3.9

（単位：％）（マレーシア統計局）
 （日本の 2023 年の失業率は、2.6%である。）

7 総貿易額

	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
輸出額	9,950.7	9,838.3	12,410.2	15,500.0	14,256.8
輸入額	8,494.1	8,004.8	9,873.4	12,938.1	12,115.7

（単位：億リンギット）（マレーシア統計局）

8 貿易品目

- (1) 輸出：電気製品、パーム油、化学製品、原油・石油製品、LNG、機械・器具製品、金属製品、科学光学設備、ゴム製品等
 (2) 輸入：電気製品、製造機器、化学製品、輸送機器、金属製品、原油・石油製品、鉄鋼製品、科学光学設備、食料品等

9 主要貿易相手国（マレーシア統計局）

(1) 輸出

	2019	2020	2021	2022	2023
1 位	中国	中国	中国	シンガポール	シンガポール
2 位	シンガポール		シンガポール	シンガポール	中国 中国
3 位	米国	米国	米国	米国	米国
4 位	香港	香港	香港	日本	香港

5 位 日本 日本 日本 香港 日本

(2) 輸入

	2019	2020	2021	2022	2023
1 位	中国	中国	中国	中国	中国
2 位	シンガポール		シンガポール	シンガポール	シンガポール
3 位	米国	米国	台湾	台湾	米国
4 位	日本	日本	米国	米国	台湾
5 位	台湾	台湾	日本	日本	日本

10 為替レート

1 米ドル=4.59 リンギット、1 リンギット=30.83 円 (2023 年 12 月 29 日終値 (マレーシア中央銀行))

○経済協力

1 日本の援助 (2021 年度までの累計) (単位: 億円)

(1) 有償資金協力: 9,238 億円 (借款契約ベース)

(2) 無償資金協力: 153 億円 (交換公文ベース)

(3) 技術協力: 1,211 億円 (JICA 経費実績ベース)

2 主要援助国 ODA 実績 (2020 年) (単位: 百万ドル)

(1) ドイツ (14.6) (2) 英国 (13.3) (3) 日本 (9.8)

(OECD/DAC)

○二国間関係

1 政治関係

1982 年にマハティール首相 (当時) が提唱した「東方政策」、頻繁な要人往来、直接投資や貿易・技術協力などを通じた緊密な経済関係、活発な文化・留学生交流に支えられ、二国間関係は全般的に良好。2015 年には、ナジブ首相 (当時) 訪日の際に、地域や国際社会の幅広い課題について、今後一層協力を強化する「戦略的パートナーシップについての日マレーシア共同声明」を発出。2022 年には東方政策 40 周年を迎えた。2023 年には、アンワル首相訪日に際して日マレーシア共同声明を発出し、両国関係を「包括的・戦略的パートナーシップ」に格上げした他、政府安全保障能力強化支援 (OSA) を通じた監視活動用機材の供与を決定した。

2 経済関係

(1) 対日貿易

(ア) 品目

輸出：鉱物性燃料（LNG 等）、電気・電子機器、化学製品等

輸入：電気・電子機器、機械類、自動車、輸送用機器等

(イ) 貿易額

2019 年 2020 年 2021 年 2022 年 2023 年

輸出

（マレーシアから日本） 19,263 17,016 21,663 34,312 28,226

輸入

（日本からマレーシア） 14,490 13,435 17,137 21,663 19,579

（単位：億円）（財務省貿易統計）

(2) 日本からの直接投資（製造業・主要投資認可額）

2018 年 2019 年 2020 年 2021 年 2022 年

日本からの直接投資 4,133 3,792 1,651 7,537 9,185

（単位：百万リングット）（マレーシア投資開発庁）

3 文化関係

(1) 文化無償協力、対日理解促進交流プログラム、展示、講師派遣等を実施。

(2) 在日留学生数：2,423 人（2022 年 12 月）

（文部科学省、独立行政法人日本学生支援機構）

4 在留邦人数（外務省・海外在留邦人数調査統計）

20,657 人（2023 年）

5 在日マレーシア人数

11,256 人（2023 年 6 月：法務省出入国在留管理庁統計）

6 要人往来（略。必要がある場合は、外務省のウェブサイト：<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/malaysia/data.html#section1>）にアクセスされたい。

7 二国間条約・取極

(1) 国交樹立

1957年8月31日

(2) 主要な二国間条約・取極

通商協定（1960年5月10日署名）

航空協定（1965年2月11日署名）

補償協定（1967年9月21日署名）

租税協定（1970年1月30日署名）

査免取極（1983年1月25日署名）

郵便為替交換協定（1983年11月18日署名）

日マレーシア経済連携協定（2005年12月署名、2006年7月発効）

日・マレーシア防衛装備品・技術移転協定（2018年4月18日）

○マレーシアの祝祭日（2024年版）：資料出所：日本貿易振興機構（JETRO）：<https://www.jetro.go.jp/world/asia/my/holiday.html>

日付	曜日	祝祭日名称（日本語）	祝祭日名称（現地語など）
1月1日月曜		新年	Tahun Baru 2024
2月10日	土曜	旧正月	Tahun Baru Cina
2月12日	月曜	振替休日（旧正月）	Substitution（Tahun Baru Cina）
4月10～11日	水曜～木曜	断食明け大祭	Hari Raya Puasa
5月1日水曜		メーデー	Hari Pekerja
5月22日	水曜	釈迦誕生日（ウエサク祭）	Hari Wesak

6 月 3 日 月曜	国王陛下誕生日	Hari Keputeraan Seri Paduka Baginda Yang di-Pertuan Agong
6 月 17 日	月曜 イスラム犠牲祭（※）	Hari Raya Qurban
7 月 7 日 日曜	イスラム暦正月	Awal Muharam (Maal Hijrah)
7 月 8 日 月曜	振替休日（イスラム暦正月）	Substitution, Awal Muharam (Maal Hijrah)
8 月 31 日	土曜 マレーシア独立記念日	Hari Merdeka
9 月 16 日	月曜 マレーシア独立記念日／ムハンマド降誕祭	Malaysia Day & Hari Keputeraan Nabi Muhammad S.A.W.
10 月 31 日	木曜 ヒンズー灯明祭（ディパバリ）（※）	Hari Deepavali
12 月 25 日	水曜 クリスマス	Hari Krismas
（※）暦により変更の可能性あり。		